

さらに、これで九立商はもう大丈夫！と安心してしていると、突然 $5,985 \div 57$ のような問題に出くわして混乱してしまう場合もあるようです。この問題のように、最初の数は同じで、二番目の数を比べると左側（割られる数）の方が大きい場合（●□≧●△）は、最初の商に1を立て、0を挟んで $285 \div 57$ の5を入れれば正解となります（答えは105）。

6級のわり算から割る数が2ケタになると同時に計算方法の幅がグ〜んと広がるので、つまづいてしまう生徒もいますが、ココをしっかりと押さえておけば整数問題（4級まで）のわり算はドンドン進んでいきます。必ずマスターできますので、頑張りましょうね〜◎

令和4年度7月から応用計算の一部改定

応用計算とはそろばん3級から出題される文章問題のことですが、今年の7月の検定試験から少しだけ出題内容が変わります。

まず消費税をあつかう問題が、従来は8%として出題されていましたが、今後は10%となります。ただし10%だと計算過程がとても簡単になってしまうので、バランスを取るために一部の問題では計算過程を少し複雑にして出題されます（1級と2級）。また、これまでは1級では・距離・速さ・時間を求める問題が出されていましたが、改定版では新たに時速→秒速（またはその逆）に変換する形式が追加されます。

*通常の小数のかけ算・わり算が出来ていれば、特に支障なく答えに辿り着ける問題ばかりです。

*今回もっとも大きく改定されるのは段位の応用問題。詳細は割愛しますが、端的にいうと従来よりも得点を取りやすくなっており、1級応用計算がきちんと理解出来ていれば、30問中16問まではスムーズにできる問題形式になっています。

◆ 消費税の問題 ◇ 2級にて出題


いままで

¥471,200の商品は、消費税をふくめるといくらになりますか。
ただし、税率は8%とする。
(計算式) $471,200 \times (1 + 0.08) = 508,896$

8% Take out

10% Eat in

¥508,896



これから

¥471,000の商品を20%引きで買いました。消費税をふくめるといくら支払いましたか。
ただし、消費税率は10%とする。
(計算式) $471,000 \times (1 - 0.2) = 376,800$ $376,800 \times (1 + 0.1) = 414,480$

¥414,480



◆ 距離・速さ・時間の問題 ◇ 1級にて出題

今の問題(変更なし)

① 分速21mの乗り物は、6時間で何km進みますか。(キロメートル未満四捨五入)
(計算式) $6 \times 60 = 360$ $21 \times 360 \div 1,000 = 7.56 \rightarrow 8$ **8km**

② 91kmの道を2時間57分で走る乗り物の速さは、時速何kmですか。(キロメートル未満四捨五入)
(計算式) $2 \times 60 + 57 = 177$ $91 \times 60 \div 177 = 30.8 \rightarrow 31$ **時速31km**

③ 時速12.5kmの乗り物で48.5kmの道を走るには、何時間何分かかりますか。
(計算の最終で分未満切り上げ)
(計算式) $48.5 \div 12.5 = 3.88$ $60 \times 0.88 = 52.8 \rightarrow 53$ **3時間53分**

追加

④ 秒速29.7mは、時速何kmですか。(キロメートルの小数第1位未満四捨五入)
(計算式) $60 \times 60 = 3,600$ $29.7 \times 3,600 \div 1,000 = 106.92 \rightarrow 106.9$ **時速106.9km**

⑤ 時速75.2kmは、秒速に直すと何mですか。(メートルの小数第1位未満四捨五入)
(計算式) $60 \times 60 = 3,600$ $75.2 \times 1,000 \div 3,600 = 20.88 \rightarrow 20.9$ **秒速20.9m**